

平成27年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	西澤悦郎
全体計画						経費区分	—			内線	3781	
事務事業名		4342 消防施設管理事業										
所 属		450100 消防本部・消防本部・消防署										
施 策		03021500 消防・救急体制の充実										
予 算		会 計		01 一般会計								
科 目		科 目		090103 消防費・消防費・消防施設費								
事 業		事 業		010000 消防施設管理事業								
事業目的						事業概要・効果						
消防施設を適正に維持管理し、災害時の対応に万全を期する						・経年老朽する施設の改修 ・既存施設の活動向上のための改修 ・地上式消火栓の設置及び維持管理						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	地上式消火栓32基の設置
平成26年度 実績	平成27年度 予定
・既設防火水槽の改修 ・防災救急ヘリの場外離発着場への通行路面改修 ・消防団活動の安全管理の向上	・既設防火水槽の改修 ・消防団活動の安全管理の向上 ・地上式消火栓の設置及び維持管理

指 標 名	地上式消火栓の設置促進					
算 式	市内の地上式消火栓数					単位 基
年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標 値	目 標			700	730	760
	実 績		644	704	716	
指標選定の理由	自主防災組織でも操作が容易な地上式消火栓の設置を進め、初期消火体制の向上を図る					
最終年度	27年度以降も継続					
目標の根拠	最終は市内のすべての消火栓					
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度						
目標の根拠						
指 標 名						
算 式						単位
年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度						
目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		26,570	21,690
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		26,570	21,690
人員数 (人)	正規職員	0.7	0.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	4,800.6	3,429.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,800.6	3,429.0
市民一人当たりの経費		0.6	0.5
総額		31,370.6	25,119.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,542	防火水槽、ヘリ離発着場への通路ほか
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	23,871	消火栓の設置、維持管理費
その他	1,157	借上料、火の見半鐘打鳴装置購入

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,300	防火水槽、消防団機械器具置場改修
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	735	防火水槽取り壊し
19節 負担金補助及び交付金	18,497	消火栓の設置、維持管理費
その他	1,158	借上料、火の見半鐘打鳴装置購入

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	- 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか - 行政内部の管理運営上必要な事業であるか - 市が主体となり実施すべき事業か - 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか - 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	必要不可欠
評価コメント	消防水利の整備充実	
有効性	- 事業の成果は上がっているか - 目標に対する達成度は十分か - 市民生活上の課題解決に貢献しているか - 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか - 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	大変有効
評価コメント	地上式消火栓を整備することにより視認性・操作性が向上する	
効率性	- 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか - 効率性向上に努めているか - 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	やや向上
評価コメント	水道事業者の工事に併せ消火栓を設置し、費用の効率化を図っている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

関係部局との連携を継続する

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
費用の効率化を図りながらも、市民要望を聞き地上式消火栓を整備している	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
消防活動と一体的な施設整備と管理を図っていく。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	